



西桂町



VOL.
116

議会だより



4月6日 西桂小学校入学式

- 令和5年度一般会計予算案 一部修正可決 2～3
新庁舎工事請負変更契約締結議案 否決
- 令和5年度一般会計予算の概要 …………… 7
- 令和5年3月定例会議決結果一覧 14～15
- 一般質問（武藤隆義議員）…………… 17
- 山崎町長3月定例会所信表明 …………… 4～6
- 令和5年度当初予算委員会審査内容 8～13
- 令和4年度補正予算委員会審査内容 …………… 16
- コミュニケーション広場（本町：白寿会）18

一部修正可決

= 当初予算決定額 36億4696万円

締結議案 否決

3月 定例会

会期

3月2日～
23日まで
(22日間)

令和5年度一般会計予算に対する委員会審査結果(総務委員会)

議案名	議決案件	賛成	反対	菅谷順	梅原浩一	武藤英一	渡辺正芳	中村常実	藤江雅江	酒井基和	武藤隆義	小林剛	瀧口幸男
令和5年度一般会計予算(原案)	否決	4	5	○	○	×	委員長	×	×	○	○	×	×

※委員長は議事進行を行うため採決に加わりませんが、賛否同数の場合のみ委員長も賛否を表明します。

● 令和5年度一般会計予算(修正案)に対する賛成討論

賛成 中村常実 議員

三ツ峠登山道沿いの「さくら公園」及び「憩いの森」の公衆用トイレ建設関係経費6830万円が計上されました。私の支援者や町民の意見は「山の公園のトイレにそんなにお金を使う必要はない。県の補助金や寄付金を使うとしても、それは単なる無駄遣い。」と理解は得られません。

三ツ峠駅周辺開発PFI事業は、国の100%補助を受けていますが、未だこの報告がありません。調査結果を議会・住民に周知し、合意形成を得てから事業化すべきと考えます。

新庁舎建設費は、建設資材価格等の高騰で当初計画比3億円以上の増額となっています。町民は新庁舎建設費が膨大に膨れ上がり、子供たちに多額の借金を残すことを心配しています。新庁舎建設関連費用の防災鉄塔建設工事、テレビ組合負担金を見直していただきたいです。また隈先生が同意されましても、2,000万円もの研究開発費を投入し、庁舎用織物クロス供給を無理に進める必要はなく、事業経費削減へ舵を切り、町民の不安を払拭するのが先です。

町政は、職員・議会・町民と合意して事業を行っていくことが大切だと考えます。

令和5年度西桂町一般会計予算に対する修正額内訳

事業名	原案予算額	修正額
さくら公園・憩いの森公衆用トイレ設計監理委託	625万円	△625万円
さくら公園・憩いの森公衆用トイレ建設工事(既存公衆用トイレ解体撤去工事を含む)	6,205万円	△6,205万円
三ツ峠駅周辺開発PFI事業推進調査委託	731万円	△731万円
新庁舎建設経費	防災鉄塔設置工事	8,191万円
	T V組合負担金	2,252万円
	町産織物クロス供給委託	2,200万円
合計	20,204万円	△20,004万円

令和5年度一般会計予算に対する審議結果(本会議)

議案名	議決案件	賛成	反対	菅谷順	梅原浩一	武藤英一	渡辺正芳	中村常実	藤江雅江	酒井基和	武藤隆義	小林剛	瀧口幸男
令和5年度一般会計予算(修正案)	可決	9	0	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○

※議長は議事進行を行うため採決に加わりませんが、賛否同数の場合のみ議長も賛否を表明します。

令和4年度西桂町議会3月定例会は、3月2日から16日までの会期としていましたが、議員より緊急提案として「令和5年度一般会計予算の修正案を総務委員会に付託する緊急動議」が提出され、審査するため会期を7日間延長し、23日までの22日間にわたって開催しました。

町長より令和5年度当初予算7件をはじめ、承認1件、修正予算8件、条例8件、議決議案(契約締結)3件、継続審査1件、同意1件など29件のうち25件が可決承認されました。令和5年度一般会計予算案については、総務委員会では否決されましたが、議員から修正案が提出され一部修正可決となりました。また工事請負変更契約の締結議案3件(西桂町役場新庁舎「建築主体・昇降機外構工事」、「電気設備工事」、「機械設備工事」)については、賛成少数で否決されました。

(⇒関連記事P8～11)

令和5年度一般会計予算案

当初予算原案 38億4700万円 + 修正案△2億4万円

新庁舎工事請負変更契約の

西桂町役場新庁舎工事請負変更契約の締結

「建築主体・昇降機・外構工事」、「電気設備工事」 及び「機械設備工事」

● 新庁舎工事請負変更契約の締結の提案理由

新庁舎敷地内において、電柱の抜柱が遅れたことによる一部工区内の基礎工事が遅延したことにより、完成期日を当初契約の令和5年12月15日から2ヶ月間延長し、令和6年2月15日までとする。

● 新庁舎工事請負変更契約の締結に対する反対・賛成討論

反対 小林 剛 議員

変更契約の承認を現時点で求めるのは時期尚早であります。町民の目にも工期短縮のための努力の様子がわかってからでもこの議決は遅くないと考えます。

工期内に完了するための知恵をだすことと努力が大切であります。西桂町は財源も少なく、工期の遅れは様々な弊害をもたらします。役場・設計事務所・建設JVチーム一丸となって知恵をだし合って、当初の工期完成に努力していただきたいと思えます。

よって、私は工期延長を目的とした「工事請負変更契約の締結について」反対します。

賛成 武藤隆義 議員

工期延長の要因は、新型コロナウイルス、止まらない物価高騰など外部要因が考えられます。

発注者（西桂町）と管理責任者、施工業者による工程会議にて延長を決定しています。ケガや事故の無い、安心安全に仕事ができる環境を整えることは、発注者である町の責任です。無理な工期のまま突貫工事のようなことになっては、本末転倒ということになりかねません。工期が押し詰まってからの工期変更は、管理責任を問われかねません。早めのスケジュール変更は、至極当然であると考え「請負変更契約の締結」に賛成します。

工事請負変更契約の締結に対する審議結果(本会議)

議案名	議決案件	賛成	反対	菅谷順	梅原浩一	武藤英一	渡辺正芳	中村常実	藤江雅江	酒井基和	武藤隆義	小林剛	瀧口幸男
工事請負変更契約の締結について													
・建築主体・昇降機・外構工事	否決	4	5	○	○	×	○	×	×	議長	○	×	×
・電気設備工事													
・機械設備工事													

※議長は議事進行を行うため採決に加わりませんが、賛否同数の場合のみ議長も賛否を表明します。



令和5年度予算は、令和3年度よりスタートした「西桂町第6次総合計画基本構想」に記載した6つの方向性に基づいた分野別計画に沿って申し上げます。

緑と水に親しむ 空間の形成

三ツ峠山や倉見山を代表とする緑や、桂川を中心とした清流、これらの豊かな自然環境を保全し、後世へ守り引き継ぐため、クマガイソウの群生地管理や、登山道点検整備等を継続し、安全で安心な歩行空間の確保や環境づくりのため、各種事業を実施してまいります。

ふるさとと景観の形成

町の玄関口である富士急行線「三ツ峠駅」のリノベーション事業につきましては、昨年より、駅舎の利用を含めた活用方法について、富士・山麓電気鉄道株式会社と協議を進めてまいりました。現在は無人駅となっておりますが、今後の駅周辺の賑わい創出も含め、ふるさと景観の保持とともに新たな町の交流拠点とすべく、リノベーションのご提案をさせていただきます。全面的にご協力をいただけるとのご回答をいただきました。



リノベーションを行う「三ツ峠駅舎」

改修後の駅舎の内部を借り受け、令和5年度中に新たな地域拠点としてオープンを予定しておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

環境保全・循環型 社会の構築

山梨県富士・東部地域12市町村で構成する「富士・東部広域環境事務組合」では、令和14年度の施設供用開始を目指し、総体的な計画の策定や、施設建設に向け必要な事務手続きが進められております。

10年後の開業に向け、今後地域説明会や環境調査などが事務組合により行われる予定となっております。合わせて持続可能な社会の実現を目指し、ごみの減量化や、ごみの分別による資源化に積極的に取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

次に、河川や用水路へのごみの流入についてであります。

これまで、本町区・下暮地区・小学校前の用水路に除塵機を3基設置し、河川への流入ごみの見える化により、ごみの現状を子どもたちも含め広く知っていただくこ

とで、意識改革を図り、ごみの河川流入抑制に繋げていきたいと考えております。

町土の有効利用と 市街地整備の推進

町営住宅の長寿命化は計画に基づき、令和3年度を初年度とし、住宅内部の水回り改修工事を行っております。対象は浅間団地・中野団地・月夜ノ平団地の計90部屋となっており、終了目標年度は令和8年度であります。

農用地につきましては、荒廃農地や遊休農地解消のため、担い手への農地の集約化や関係法令との調整を図りながら、土地利用の転用も含めた農地の有効利用について取り組んでまいります。

また、町内山林につきましては、森林環境譲与税の有効活用により、林業経営の集積や委託管理など、適正な森林管理を行ってまいります。

道路交通網・公共交通 体系の確立

町では、公共交通の脆弱さをカバーするため、令和4年度より町職員の運転により専用の公用車を

利用し、町独自の移動支援事業を無料で実施しております。一人暮らしの高齢者や心身に障がいのある方の通院や買い物等、移動手段として、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができれば、引き続き支援に努めてまいります。

農林業の振興

現在、鳥獣被害対策として猟友会と連携した有害鳥獣駆除、人家付近に出没したサルを追い払う「サル追い隊」、農業者が実施する有害鳥獣被害防止施設等の設置に要する経費への補助事業などを実施しております。

また、平成28年度より尾尻地区から郷土地区にかけて電気柵の設置を年次計画で延伸してきましたが、昨年度で完了いたしました。総延長約1.9kmに及ぶ電気柵により地域住民及び耕作者に対し鳥獣被害の減少が図られるものと考えております。

商工業の振興

国では、5月8日の5類への見直しを機会にしてコロナ後の経済回復に向けての取り組みの強化が

図られています。

今後も、国や県との連携、また、西桂町商工会・西桂織物工業協同組合との連携強化を図り、創業支援事業や販路開拓支援の継続、雇用の創出拡大のための企業支援など、各種支援制度の取り組みを継続してまいります。

また、NESIC陸上養殖株式会社による「閉鎖循環式陸上養殖場」が完成し、昨年12月に竣工式が執り行われました。町の地下水を利用し、最新の技術により世界的に需要が拡大している養殖サーモンの陸上養殖がよいよ始まります。現在、本格的な養殖の開始



養殖サーモンの陸上養殖を開始

に向けて最終調整が進められているとあります。

観光の振興

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により個人のライフスタイルも変化し、観光業界におきましてもニーズが多様化し、観光振興のあり方自体も変化を求められております。町の観光資源を保全しつつ、継続して地域の観光資源の整備に努めるとともに、商工業と連携した観光拠点づくりや、三ツ峠グリーンセンター周辺を拠点とした三ツ峠里山整備事業を中心に多彩な観光事業の展開について検討してまいります。

保健・医療の充実

令和4年度中に見直された「第2次西桂町健康増進計画」に基づき、町民に対する健康づくりを推進してまいります。

乳幼児につきましては、健診や相談を通じて一人ひとりに寄り添い、母子の健やかな成長を包括的に見守る体制を構築するため、必要な専門スタッフの充実を図り、サービスの向上に努めてまいります。

成人・老人健診事業につきましては、疾病の予防や早期発見・早期治療による医療費の抑制を図るため、未受診者への勧奨を強化し、検診受診率の向上を図るとともに、町民に対する運動習慣やバランスの良い食事習慣の啓発に努めてまいります。

感染症対策

新型コロナウイルス感染症につきましては、本年5月8日をめぐりに、感染症法上の2類相当から季節性インフルエンザと同様の5類への移行が示され、マスクの着用は自己判断とするなど緩和に向けた見直しが急速に進んでおりますが、今後のワクチン接種に関しましては、新年度においても接種実施の方針が示されました。町では国県の指示に従い、接種対象となる町民に対し、確実な接種機会が提供できるよう努めてまいります。

子育て支援の推進

町では「子どもの育ちを支援する町宣言」をする中、子育てを大切にする意識を共有し、子育てのサポートに努めております。中でも子育て環境づくりの側面から三

世代の同居等を奨励し、町外から転入し三世代同居等を始めようとする対象者に対し、新築・増築費用助成を現行の町外加算10万円を令和5年度より20万円とし、転入及び当該事業の促進に努めてまいります。

また、令和4年度から国の施策として開始されました「出産子育て応援交付金事業」につきましては、妊産婦や出産後の母子の不安や孤立を解消し、訪問や相談などを充実させるための伴走型相談支援を基に、妊娠届出時及び出生届出時にそれぞれ5万円ずつ、計10万円の経済的支援を併せて実施し、出産子育て家庭にしっかりと寄り添い、安心して出産・子育てができる支援に取り組んでまいります。

また、子どもの健やかな成長と保護者の子育てを支援するため、「西桂町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、引き続き事業を推進してまいります。

学校教育の推進

「自ら学び考える力を育てる教育」につきまして、基礎学力の確実な定着を図るため、体験活動の

充実、外国語教育の充実、ICT教育の充実、読書活動等の推進を図ってまいります。

なお、発達障がいのある児童生徒につきましては、県や専門機関との連携も加えた受入れ支援、指導体制の整備を図り、環境整備に努めてまいります。



タブレットを活用した授業に取り組む小学生

青少年の健全育成

青少年の健全育成には、取り巻く環境の変化を捉え、相談体制を充実し、不安や悩みの早期発見と、問題行動の防止に努めることが必

要となります。学校現場においては、教職員、養護教諭及び、スクールカウンセラーと連携し、地域においては、スクールカード連絡会及び青少年育成西桂町民会議の活動を支援し、青少年の健全育成に努めてまいります。

高齢者・障がい者福祉の充実

高齢者福祉の充実につきまして、地域住民が主体となって取り組む介護予防、日常生活支援総合事業の推進や、医療と介護の連携体制づくりの取組など、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制の推進を図るとともに、発症予防も含め、軽度から重度に至るまでの認知症対策を総合的かつ継続的に推進してまいります。

障がい者福祉の充実につきましては、令和5年度中に策定予定の「障がい者計画」、「障がい福祉計画」及び「障がい児福祉計画」を基に、障がい者総合支援法に基づき、各種障がい福祉サービス等の提供や、重度心身障がい者への医療費の助成など、支援に取り組んでまいります。



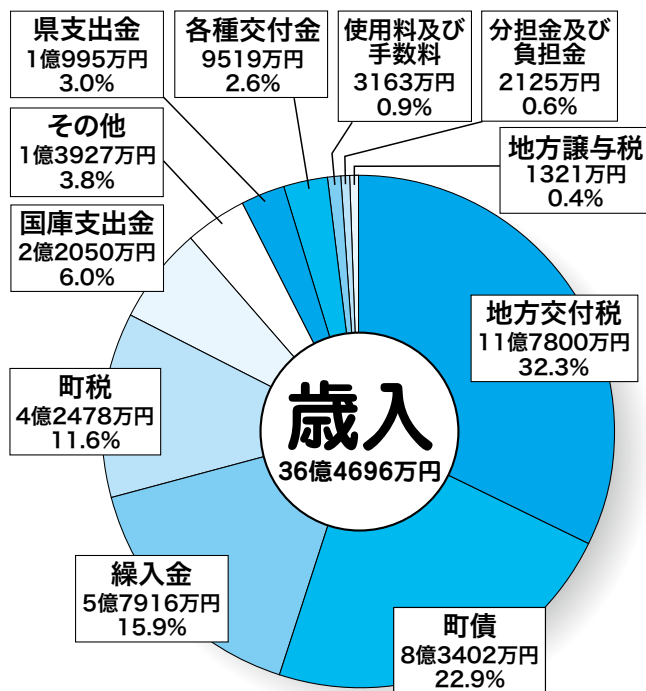
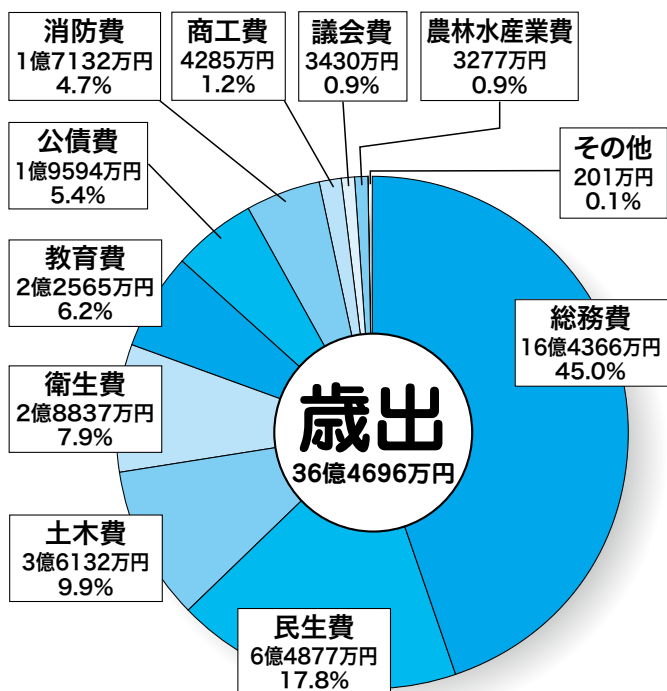
地域福祉の充実

令和4年度中に町が策定を予定している「地域福祉計画」を基に「地域福祉活動計画」を策定し、社会福祉協議会の活動支援を行うとともに相互の連携・協力を努めてまいります。

行財政運営の充実

新庁舎建設事業につきまして、敷地内の電柱移設の進捗の遅れに伴い、工期を予定より2ヶ月延長することとなりましたが、基礎工事を概ね完了し、令和5年度にはいよいよ本格的な工事が始まります。今後も降雨や降雪の状況等によつては工期が厳しい場面もあろうかと思いますが、令和6年度スタート時に新庁舎での行政サービスが始められるよう、職員、設計者、施工業者とも一丸となつて庁舎建設に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年度 西桂町一般会計当初予算



■基金(貯金)残高14億5226万円(約36万円)

■地方債(借金)残高

普通債 11億721万円(約27万円)

臨時財政対策債等 9億919万円

※ 左記の額は一般会計令和4年度末見込みです。

※ 左記の〔 〕内はR5年4月1日現在人口4,027人で割った一人当たりの額です。

※ 左記の臨時財政対策債は、地方交付税で100%財源が措置される地方債です。

一般会計当初予算の科目別対前年度比増減表

科目	令和5年度	令和4年度	増減額
総務費	164,366	103,936	60,430
民生費	64,877	65,396	△519
土木費	36,132	33,057	3,075
衛生費	28,837	25,877	2,960
教育費	22,565	26,518	△3,953
その他経費	47,919	50,623	△2,704
合計	364,696	305,407	59,289

科目	令和5年度	令和4年度	増減額
地方交付税	117,800	111,000	6,800
町債	83,402	43,811	39,591
繰入金	57,916	45,628	12,288
町税	42,478	41,173	1,305
国庫支出金	22,050	21,232	818
その他経費	41,050	42,563	△1,513
合計	364,696	305,407	59,289

一般会計の主要事業及び主な新規事業

歳出

- 新庁舎建設事業 10億6020万円
- 富士見橋補強補修工事 2750万円
- 下水道本復旧舗装工事経費(箕和田線) 1320万円
- 郷土公園東屋等新設工事 355万円
- 町営住宅水回り改修経費 1億800万円
- 水道管布設替工事(柿園郷土地区・下暮地宮作地区他) 2091万円
- 下水道管渠布設工事(倉見町民グラウンド付近) 1867万円

令和5年度西桂町 一般会計予算

(主な委員質疑・歳入)

移住支援策

中村副委員長 国庫補助金の移住支援交付補助金は、県内の他市町村から西桂へ移住しても補助金はもらえるのですか。

高山企画財政課長 県内からの移住では補助金は出ません。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県から移住される方が対象になります。

瀧口委員 山梨県への移住希望者は全国で3位ですが、当町の移住者受け入れ状況は。

高山企画財政課長 県外から概ね3千人から4千人が県内に移住しています。そのうち西桂町に移住された方は、令和3年度、令和4年度とも8名でした。

瀧口委員 地方の人口減少を防止するため、地方の活性化につなげることを目的とした政策が地方創生。その中の一つが移住政策。この時から各自治体の競争が始まっていることを私は伝えたいです。人口減少が続いている我が町は、

他の市町村との競争に負けているんです。成果が上がっていない自治体は、行動を起こしていないから、それに尽きます。

このような状況下、当町の移住支援策の現状について説明を。

高山企画財政課長 当町では学校給食無償化や18歳以下の子ども医療費の無料化、入学・就職支度金、町営住宅の共用部の町負担金など、近隣市町村に先駆けて子育て世帯を助成する施策に取り組んでまいりましたが、町の知名度の低さとともに、それらの施策が県内外に知られていない実態があります。

今後は子育て世帯に優しい自治体としてのPRを「やまなし暮らし支援センター」や「ふるさと山梨定住機構」などに働きかけ、移住者の増加を図っていききたいと考えております。

山崎町長 子育て世代への支援については、かなり近隣市町に比べて充実させています。しかし、住環境の整備・人口減少対策という項目の中の「空き家等の対策」が進んでおりません。また、農業振興地域も含めた町内の遊休地等の活用も進んでおりません。町内に住みたい人はいますが、家を建てる土地がな

いことは認識しております。

空き家対策と土地利用は、所有者、地権者の対応・協力に尽きますので、そこをぜひ委員の方々にはご理解いただき、今後の政策にご協力をお願いいたします。

獣害対策用電気柵

小林委員 獣害対策の電気柵設置については、藤江委員より倉見地区においても、鹿等の獣害被害があるため、電気柵の設置依頼が昨年ありました。倉見地区に設置する予定はないのですか。

山崎町長 倉見地区の農地所有者の多くの方から農振地区の解除について要望が寄せられています。農業用電気柵を設置することは、その農地を守るという大前提がありますので、農振地区の解除に非常に弊害がでます。ですから、電気柵の設置は他の予算で対応しなければならぬことが大前提にあつて、そこが一番の課題であります。

保育所未満児受け入れ

菅谷委員 国庫補助金の保育所運営費負担金が増額している理由は。
新田保育所長 未満児の入所が増



楽しく遊ぶ未満児の子どもたち

えており、未満時の補助単価が高いことから増額しています。

また保護者がインターネット等で他市町村の保育園と比べて支援が手厚いことを理由に、入所を希望される幼児も増えています。

山崎町長 今の子育て世帯は夫婦共働き世帯が非常に多く、0歳児から預けたいという需要が非常に高まっていることから、町内の未満児の受け入れについては、全て応えるよう保育園に指示を出しております。

近年では、妊娠した時点で予約を入れたいという要望も上がっていますので、できるだけ早い時期

に要望が上がれば、体制づくりをして、受け入れる方向で取り組んでおります。

(主な委員質疑・歳出)

「さくら公園」、「憩いの森」 公衆用トイレ建設

中村副委員長 「さくら公園」と「憩いの森」の公衆用トイレ建設のため、設計管理業務委託624万8千円、建設工事6205万2千円を計上しています。「憩いの森」は男性用が小便器2個、大便器1個、女性用は便器を2個計画し、「さくら公園」は男性用が小便器2個、大便器1個、女性用は便器が2個、そのほか多目的トイレを計画しています。登山道沿いのトイレにこのような設備が必要でしょうか。

山崎町長 登山道の途中にあるトイレは、非常に重要です。使われる方も多いです。

トイレの設備を充実させることは、政策的な目的です。まずは町の知名度だったり、活性化だったり、三ツ峠山麓の登山道を含めた周辺の開発は、私は政策として目玉であると常々言っております。

そのなかで第一の政策予算と捉えていただきたいと思えます。

またトイレに限らず、今後の開発事業は財源が確保でき次第、どんどん積極的に進めていきます。何もしなくて活性化はあり得ません。特に公園とか山間部への一般来場者の基準は、トイレがいかにきれいであるかは、非常に要求頻度が高いです。そのような今の市場のニーズを捉えた中で、目玉となるようなトイレを造っていきたいということ、県や栗井英朗環境財団にも相談する中で、特別に寄附金もいただいている状況であります。



さくら公園公衆トイレの現地視察

佐藤産業振興課長 トイレ建設にかかると財源の県補助金は1600万円予算計上していますが、県への補助金申請額は満額の2千万円を申請しております。また環境保

全基金繰入金金の2823万1千円は栗井英朗環境財団よりご寄附をいただいております。その内訳として2千万円は今回特別にトイレ建設のためにいただきました。また、823万1千円は、4年程前よりトイレ建設のため、毎年積み立ててきました。県の補助金と合わせて4800万円ほどの財源を見込んでいますので、ご理解をお願いします。

藤江委員 「憩いの森」のトイレ環境の整備は大事なことだと思いますが、建設費に関しては町民からの理解は低いと思われる。トイレの個数なども少し検討する余地があると思えますがいかがですか。

山崎町長 トイレの規模については、あくまでも概算予算による個数を載せてありますので、男性用トイレが1個になることもありま。障がい者が利用できる多目的トイレはやはりSDGsも含めて、全ての人に使っていたくた

めにも必要です。

また、財源については、県の補助金や寄附金をいただくなかで、足りない費用を町債、借金をして使うという視点は全くありません。プライマリーバランスの均衡を維持していきますので、財源が確保できないのに、開発だけ突出していくことは全く考えていませんのでご理解願います。

小林委員 トイレ建設にかかる財源については、限度額いっぱいまで補助金がいただけると思いますが、山のトイレに6千万円もかける人がどこにいるんですか。山のトイレに6千万円なんて笑われます。県から補助金をいただけたらいいと思います。富士山や北岳ならいざ知らず、登山客が大勢来る地域であればトイレの利用も多いですし、当然そういう環境対策が必要になりますので、経費をかけてもバイオトイレを設置しなければいけないと考えるのは真つ当な話だと思います。なぜ水の豊かな「水の町西桂」で、すぐ横に川や水があるところに、バイオトイレを整備する必要があるのでしようか。

山崎町長 今までのバイオトイレ

はおがくずなどを使用して、いろいろと管理費がかかることが問題になっていました。今回の採用するシステムは、「土壌式エコまるトイレ」と言いまして、し尿の成分を屋外の花壇などの土地全部に吸収させ、最終的に下部からろ過した水を再利用し、足りない部分は雨水など使用するというところで、完全循環型のトイレとなっております。電気も多少使いますが、それは全て太陽光で賄うことで、完全独立型のトイレシステムになっており、このシステムの有効性は、県知事も非常に賛同しております。

またこの土壌式トイレは、山中湖村の公園にも1年半ほど前に設置されまして、男女別の個室で建設費は大体800万円くらいということです。このトイレを一回り大きくした場合ですと、1カ所、1200万円くらいになります。

また、現在のトイレの年間の管理費については、業務委託管理費が37万から38万円、電気代が28万から30万円ぐらいかかっています。合わせて70万から80万円のランニングコストがかかっています。また電気代は昨今の事情から

28万が多分40万円超えになると予想されますので、年間約80万から90万円のランニングコストがこれからかかっていると見られます。

しかし、この新しい土壌式のエコまるトイレの点検業務は時々必要でありますが、そのランニングコストはほぼかからないということです。既に実験プラントでは25年のノーメンテの実績もありますので、それから鑑みますと、今の管理費が年間80万円としますと、10年で800万円、12年では1千万円弱の経費が削減できるということが大きなメリットであります。

更に、町の活性化策といたしまして、今年2月に隈研吾建築都市設計事務所と「西桂町のまちづくりに資する包括連携協定書」を締結しました。隈先生が東京のトイレプロジェクトに参加したように、情報発信力のあるトイレにしたいと考えています。このようなことから、県や栗井財団さんへのアプローチをするなかで、非常に評価をいただきまして、積立金の800万円も全て栗井財団さんからの寄附を積み立てています。つまり、このトイレに関して栗井財

団さんから2800万円寄附をいただいていることになりました。

また、昨年12月に長崎知事のほうから、富士山自然首都圏構想という大きな構想が発表されました。その事業の名誉顧問に隈先生も就任されましたので、そのことと連動していきながら、西桂町の観光振興の発展と県の自然首都圏構想での予算取りも視野に入れながら、象徴的なトイレにしていきたいという政策的な予算付けの意図がかなり強いとご理解いただきたいと思います。

三つ峠駅周辺開発事業

中村副委員長 駅周辺開発の先導的官民連携経費については、令和4年度1298万4千円を計上し、令和5年度にまた730万4千円を計上していますが、事業の状況について説明を。

山崎町長 三つ峠駅周辺のPFI、民間資金活用計画については長期的な計画になります。

令和4年度は事業経費100%を国庫補助金で賄いPFI導入の可能性について、地域住民を初めとする各種団体や近隣建設業者、旅行会社など関係団体への調査を

行いました。調査結果はもうすぐまとまりますので、新年度早々には議会にもお示しできると思っています。

令和5年度は、その調査結果をもとに、より具体的な事業規模等々を駅前の再開発の中でどのように実施できるかコンサル事業を行う予定であります。

小林委員 令和4年度の事業結果を見てからやるべきである事業ではないかと、私は考えます。

山崎町長 結果が出てからという話ですが、今のコンサルとは調査段階で常にリンクして一緒にやっています。ですから、次のステップに進むために切れ目のないよう最短を目指すために予算を上げています。確かに結果が出てから6月の補正予算に上げるという考えもあります。その結果は既に調査業者とは連携を取っていますので、その調査レポートを基にしたなかでの継続ということで、当初予算に計上させていただきます。

役場新庁舎建設事業

小林委員 工事の本格化に伴い12億9800万円の経費が計上されております。工事費のなかに、

テレビ塔の移設、防災鉄塔建設工事、鉄塔設備のための設計委託、現庁舎解体・駐車場整備設計業務が予算計上されています。この経費はコストを優先して、令和6年度に先延ばしにしてもいいのではないかと思えます。

また、町産織物供給委託の織物クロスはただでさえ値が上がっており、そのうえ、壁紙を作る業界の人は町内にはいません。技術的蓄積もないものに、多額の費用をかけて、わざわざ役場の新庁舎のクロスのために開発するよりも、コスト最優先で従来の形のクロスを貼って、次回の内装リフォーム時に町産のクロスや、カーテンを付けければ良いと思います。

現庁舎の解体については、財政的にゆとりがでてからでも良いのではと思えますが、町の考えをお聞かせください。

山崎町長 基本的に新庁舎は、町の活性化の象徴でもある位置づけもあります。隈先生とも打ち合わせするなかで、町産の木材や資材を使うことで、非常に共感を得られています。当初からこれには設計者として賛同いただいている部

分ですので、政策的な部分の重点政策としてご理解いただきたいと思います。

また隈先生は、各地の産業政策にも興味を示しており、絨毯業界とか、糸関係ですと世界遺産の富岡製糸場関係にも非常に貢献されていますので、ここは多少コストがかかったとしても、取り組んでいきたいと思っていますので、ご理解をお願いします。

高山企画財政課長 建設している敷地の全体を使って庁舎が建ちま



役場新庁舎完成予想図

すので、現庁舎を解体しないと来庁者の駐車場はありませんので、ご不便をおかけすることになります。そのために解体を先送りすることは考えられません。

小林委員 新庁舎建設費で未定になつているのは、アスベストの処理費用です。どのくらい必要か分からないうえに、補正予算を追加するようになれば、町民だって「いかげんにしてくれ」と思えます。妥協できるものは妥協しなければ、新しい庁舎ができて、この庁舎のために町はずいぶん借金を抱えることになったと、『負の遺産』と町民に思われるのが一番困ります。隈先生が世界的にネームバリューのある先生と言っても、『負の遺産』になつては困ります。そここのころの考えを改めていただかないと困る、というのが住民からの意見です。

救急車緊急搬送対策

瀧口委員 富士五湖広域行政事務組合の救急車の対応についてですが、町内で救急車を呼んだところ、到着まで20分も時間がかかった。また搬送先の病院が見つからないなどの理由で救える命が救えなく

なる事案もありました。このようなことが2度と起きないように、広域行政事務組合へ対策を早急にお願いしていただきたいと思えます。

山崎町長 確かにそれはものすごい課題であることは認識しています。それも富士五湖広域行政、消防行政のなかでも課題としています。

一方で、軽症の方がタクシー代わりに救急車を出動要請するケースが非常に増えているのも実態としてあります。富士五湖管内では、半数以上が軽症者に呼ばれて出動しています。このことにより、重傷者がすぐに来てほしいときに実は軽症者を運んでいたというようなことが頻繁に起きているのも事実です。

それと合わせて、病院のたらい回しの部分は、コロナ感染症患者の病床の確保ということがあり、県や国に対していろいろ課題は指摘をしているところではありますが、かなりの問題があることは認識しております。

これは短期的に解決できない話でありますので、前向きに取り組んでまいります。ご理解をお願いいたします。

令和5年度西桂町国民健康保険特別会計予算

小林委員 データヘルス計画の概要説明と計画策定に係る職員の業務負担は。

小川税務住民課長 今回の第三期計画は、令和5年に策定し、令和6年から6年間ということになります。特定健診等の結果を元に分析をし、特定健診の受診率や医療費の目標金額を目標値と定め、適格な保健事業をするための計画です。業者委託のため、職員負担はそれほど大きくないです。

小林委員 健診等の計画について、福祉保健課の事業と重なっています。共同で行う事業という認識で良いか。

小川税務住民課長 そのとおりです。

小林委員 出産育児一時金の支給について、3件の出生を見込んでいますが、過少見込みではないか。

小川税務住民課長 国保被保険者は若い方が少ないこと、町の人口が減っていることから実績に基づき算定しています。

武藤(隆)委員 保険給付費のなかで一般被保険者の給付経費が前年

度と比べて1000万円程減っています。減少理由は。

小川税務住民課長 一人当たりの医療費に被保険者数を掛けています。被保険者数は去年よりも30人程減る見込みです。一人当たりの医療費は微増を見込んでおり、医療費は上がりますが、被保険者は減りますのでこのような数字となります。

令和5年度西桂町後期高齢者医療特別会計予算

(主な委員質疑)

小林委員 保険料の収入が減少した理由は。

小川税務住民課長 保険料率が据え置きのため減少すると見込み、県の試算で計上しています。

小林委員 後期高齢者の自己負担は、令和5年からどういう負担割合になるのか説明を。

小川税務住民課長 2月28日現在の対象者は653名おり、1割負担が561名、2割負担が70名、3割負担が22名です。

小林委員 マイナンバーカードを保険証として使用する場合、オンラインでは窓口で読み込ませれば確認できますが、それ以外に負担

割合を調べる方法は。

小川税務住民課長 支払時以外には、マイナポータルで保険証の確認ができます。

小林委員 住民の方にわかるような周知をお願いします。

令和5年度西桂町介護保険特別会計予算

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 居宅介護サービス給付経費が率にすれば20%弱が減っています。減少理由の説明を。

永田福祉保健課長 今回の減少は、新型コロナウイルスの影響による一時的なものと考えています。

武藤(隆)委員 それならば施設介護給付経費が上がらないとおかしいのでは。

永田福祉保健課長 施設に入所できなければ、デイサービス等の利用になります。今後施設入所も想定しながら予算計上してまいります。

小林委員 居宅介護住宅改修費の利用状況は。

永田福祉保健課長 平成31年から令和4年にかけて、年に5件ずつ利用しています。

武藤(隆)委員 地域介護予防活動

支援経費、いきいき交流会7団体はどのような団体か。

永田福祉保健課長 倉見は「ほほえみの会」、柿園は「楓会」、「ひまわり会」、本町は「白寿会」、上町は「二葉会」、「さつき会」、下暮地は「鈴の音会」、8名、20名の1人暮らしの高齢者、ボランティアが毎月1回集って活動をしています。

武藤(隆)委員 地区のほうでも補助金を出しています。より良い活動ができるように町からの補助をお願いします。

藤江委員 いきいき交流会のあり方について、町外活動も支援していただきたいと思えます。また補助金交付案件の緩和も検討していただきたいと思えます。

永田福祉保健課長 社会福祉協議会等と話し合い、補助金の簡素化を検討します。事業強化費は予算のなかに組み込まれています。

令和5年度西桂町簡易水道特別会計予算

(主な委員質疑)

小林委員 新規システム導入との記載があります。そのシステムの内容は。

重森建設水道課長 水道料金システムの導入委託を行います。現在のシステムではインボイスに対応できないことから導入いたします。

小林委員 水道料金を徴収するための計量器が自動化され、オンライン確認できるシステムに変更する考えは。

重森建設水道課長 遠隔のメーターについては、担当の方で業者と導入に係る経費の試算をしますが、メーターの価格が高額になりますので、8年ごとに入れ換えをしなければならぬことも鑑みながら、どうしても付けなければ対応できない箇所もございますので、そのようなところについては再検討課題だと感じています。

(主な委員質疑・歳出)

小林委員 施設管理経費の光熱水費のほとんどはメーターの電気料金だと思えます。今使用しているメーターの交換時期について検討は。

重森建設水道課長 水源地のポンプについては、毎年検査と修繕を行っています。年数が経ってくるにつれて劣化するの事実でございます。なるべくイニシャルコストを抑えていくことを考えています。

が、昨今の電気料金の値上げがいつまで続くのか分からない状況で、ポンプの耐用年数等も考慮しながら、電気料金のランニングコストを考えながら検討していく課題だと思っています。今のところは問題なく使えているので交換等は考えていません。

令和5年度西桂町下水道特別会計予算

(主な委員質疑)

小林委員 下水道への接続状況と接続への取り組みは。

重森建設水道課長 現在、下水道が使えるようになった区域内の人口は2336人となっています。その中で水洗化をして下水道につないでいただいた方が1818人いらつしやいます。水洗化率としては77・8%となっています。当課ではなるべく早くつないでいただいで、当初の負担金なるべく少ないようにしていただくとお知らせしています。なかには65歳以上の方や、お子様が帰ってこないなど事情がありまして接続できない方々にもお話をしながら、猶予ができる方には猶予を進めています。

武藤(隆)委員長 下水道接続にかかる費用は平均どのくらいですか。

重森建設水道課長 宅地まですはご家庭の敷地境界から1メートル以内のところを設置しています。宅地まですへの接続費用については、平均して受益者負担金と同じ、30万円くらいかなと思っています。

菅谷委員 流域下水道経費の維持管理負担金(汚水量)について説明を。

重森建設水道課長 維持管理負担金は、汚水量に伴って算出したものです。下水道使用料の算出は、3年に1度、桂川流域下水道で使用する水量を推定いたします。各市町村の、3年間に出水道使用量を想定、それに単価を掛けて算出をすることになっています。負担金額は、令和4年度が3800万円、令和5年度が4000万円と少し上がっています。

小林委員 公共下水道全体計画見直し図書作成業務委託について説明を。

重森建設水道課長 下水道事業は、県の認可を取りまして、許可が出た区域の実施設計を行い、工事に着手できます。

令和5年度は、令和4年度に事業認可を受けました役場北側の周辺地域を実施する予定です。見直しの理由は、国道に敷設した下水道管に流す計画でしたが、経費がかさむため、小沼中央線側に流すように変更するためです。

令和6年度は実施設計に基づいた完成図書を基に工事着手する計画を進めています。

藤江委員 下水道工事の後、簡易的に舗装しているようですが、12月の寒い日に直した箇所の舗装が3センチくらい浮き上がっています。暖かくなると元に戻るようですが、私が見た場所以外にもそういった場所がありますか。また、工事後どのくらいの期間で町道の舗装をしますか。

重森建設水道課長 凍結震度の関係で、冬になるとどうしても浮き上がっています。町全体また他市町村でも発生しています。簡易的な舗装ですので舗装の打ち替えをすれば直ります。今年度実施した工事箇所は、出来る限り早期に全面復旧をかけるようにしています。

令和5年3月定例会議決結果一覧表

【替否が別れた議案】

令和5年度一般会計当初予算計上額

会計名	審議結果	予算総額	前年との比較
一般会計	一部修正可決	36億4696万円	5億9289万円

その他（契約締結）

契約名	審議結果	主な内容
工事請負変更契約の締結について、 （西桂町役場新庁舎建築主体・昇降機・外構工事） （西桂町役場新庁舎電気設備工事） （西桂町役場新庁舎機械設備工事）	否決	3件の工事請負変更契約の締結につきましては、いずれも完成期日を当初契約の令和5年12月15日から2ヶ月間延長し、令和6年2月15日までとする。

【全員賛成で可決した議案】

令和4年度各会計補正予算

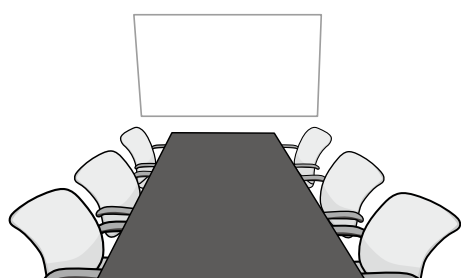
会計名	審議結果	補正額	補正後の予算総額
専決処分事項 （一般会計補正予算（第8号））	可決	803万円	34億5124万円
一般会計補正予算 （第9号）	可決	△1億1111万円	34億5124万円
一般会計補正予算 （第10号）	可決	3880万円	33億7893万円
国民健康保険特別会計補正予算 （第3号）	可決	△48万円	3億9242万円
後期高齢者医療特別会計補正 予算（第2号）	可決	△282万円	9489万円
介護保険特別会計補正予算 （第3号）	可決	△559万円	4億5761万円
介護予防支援事業特別会計補 正予算（第1号）	可決	12万円	119万円
簡易水道特別会計補正予算 （第2号）	可決	△1054万円	8117万円
下水道特別会計補正予算 （第2号）	可決	2713万円	1億8823万円

令和5年度各特別会計当初予算

会計名	審議結果	予算総額	前年との比較
国民健康保険特別会計	可決	3億9477万円	555万円
後期高齢者医療特別会計	可決	9774万円	15万円
介護保険特別会計	可決	4億4570万円	△1937万円
介護予防支援事業特別会計	可決	123万円	16万円
簡易水道特別会計	可決	9764万円	1151万円
下水道特別会計	可決	2億0662万円	△473万円

条例制定、改正

条例名	審議結果	主な内容
西桂町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	可決	地方公務員法に規定する高齢者部分休業の制度の導入に伴う条例制定
組織機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	多種多様かつ高度な行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織体制の整備に伴う条例制定
西桂町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	西桂町職員給与条例の改正に鑑み、フルタイム会計年度任用職員の給料表の改正に伴う条例改正
西桂町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の 一部改正について	可決	西桂町役場庁舎建設委員会の設置目的完了に伴う報酬事項の削除及び機能別消防団員制度導入による消防団員の職名の区分の改正に伴う条例改正
西桂町特定教育・保育施設及び特定 地域型保育事業の運営に関する基準 を定める条例の一部改正について	可決	民法等の一部を改正する法律の一部改正に伴う条例改正
西桂町家庭的保育事業等の設備及び 運営に関する基準を定める条例の一 部改正について	可決	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う条例改正
西桂町国民健康保険条例の一部改正 について	可決	健康保険法施行令等の改正に伴う条例改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改 正について	可決	国民健康保険法施行令の改正及び国民健康保険特別会計の健全財政保持を目的とする税率改正に伴う条例改正
西桂町消防団員の定員、任免、給与、 服務等に関する条例の一部改正につ いて	可決	西桂町消防団に機能別消防団員制度を導入に伴う条例改正






今泉 守夫 氏

教育長

全員賛成で可決



**3月定例会
人事案件**

令和4年度一般会計 補正予算(第9号)

(主な委員質疑)

地域おこし協力隊運営

武藤(隆)委員 地域おこし協力隊運営経費の減額した理由は。

山崎町長 当初4人募集しましたが、1人しか採用できなかったことによりです。

三ツ峠山麓整備事業

小林委員 三ツ峠山麓整備事業で測量及び不動産鑑定士による評価等のため昨年11月、12月に補正を計上しました。この事業の動向は。

山崎町長 当初2期に分けて行う計画でしたが、県との協議により、公園全体を一体的に進めることに変わりました。そのため、一旦計画の全体像を仕切り直すというところで減額させていただきました。

小林委員 三ツ峠山麓里山整備事業の予定地に関して、地籍上どこを開発の対象にするのかオープンにしたい。

山崎町長 全体計画が確定してからでない、土地買収の話に結びついてしまうので、一体化する公

園のエリア等が策定しましたら、議会に情報として提示します。

環境保全基金の目的

武藤(隆)委員 環境保全基金2500万円についての目的は。

佐藤産業振興課長 この基金の原資は粟井英朗環境財団からの寄附です。令和5年度にエコトイレ、バイオトイレを造る計画です。

三ツ峠グリーンセンター 指定管理者の選定

小林委員 三ツ峠グリーンセンターの指定管理者は令和5年度が最終年度になります。令和5年度中にはしっかりとした調理師の配置可能な業者を選定できるようにお願いしたいのですが。

山崎町長 三ツ峠グリーンセンター・指定管理者の選定は、令和5年度の重要な課題となります。いろいろの可能性について新年度になりましたら議論していきたいと思えます。

小・中学校のICT教育

小林委員 小・中学校のICT教育の設備が導入されました。これまでのICT教育の状況は。

川村教育長 一人に一台のタブレットを配り、電子黒板等を利用し、文部科学省の教科書等に基づき教育を行っています。小学校高学年ではより高度なパソコンの活用ができるようプログラミング教室を行っております。中学校では不登校気味の生徒へタブレットを貸与し、できるだけ学校とのつながりを保てるよう配慮しています。

小林委員 小学校高学年で通常の授業より高度なプログラミングを志向する子供たちへのサポートはされていますか。

川村教育長 今年度までは、夏休みの期間に専門の業者に依頼して、きずな未来館にて、興味のある子供たちを対象に、10日間プログラムミング教室を開催しました。来年度以降は低学年と高学年でレベルを分けて開催したいと考えています。

令和4年度一般会計 補正予算(第10号)

(主な委員質疑)

**小学校グラウンド・体育館
LED照明化及び小学校校舎
太陽光発電システム設置**



太陽光発電システムを設置する「小学校南館校舎」

小林委員 太陽光発電の規模と発電のワット数は。

高山企画財政課長 太陽光パネルを90枚設置する予定です。太陽光発電のワット数は33キロワットくらいです。

武藤(隆)委員 LED照明に交換する予定の小学校体育館の照度は、中学校体育館と同じですか。

高山企画財政課長 中学校体育館のLEDは、仕様書では800ルクスです。小学校体育館は896ルクスなので、中学校よりも100ルクスほど明るいのです。



武藤隆義 議員

問 三つ峠駅舎のリニューアル状況は？

三つ峠駅舎を新たな町の交流拠点としてリノベーション事業を行い、富士急行(株)の協力のもと、駅舎内部を借り受け、内装の改修や備品などを整備し、令和5年度中のオープンを予定しているとのことでした。

富士急行線は「富士山麓電気鉄道」に会社名が変わったことにより、駅舎のリニューアル計画が頓挫しているのではないかと危惧するところですが、事業の進捗状況について説明をお願いします。

長弁 町答 三つ峠駅舎は令和5年度内のオープンを目指す

新庁舎の建築により「ふれあいサロン三つ峠」を解体しますので、これに代わる施設として、「三つ峠駅」を何とか有効活用できないものかと、富士急行(株)様及び富士山麓電気鉄道(株)様と協議を進めてまいりました。

現在は無人駅ですが、今後の駅周辺の賑わい創出も含め、ふるさと景観の保持とともに新たな町の交流拠点とすべく、町から三つ峠駅舎のリノベーションのご提案をさせていただいたところ、地域活性化のために協力していただける旨のご

回答をいただきました。

このことによりまして、東京造形大学の学生による駅舎コンバージョンデザイン4案のご提案をいただき、更には西桂中学校生徒の皆さんによる投票で、町としての最終的なデザイン案を決定いたしました。

また、富士急行(株)様には、駅舎のリノベーションや改築に関する費用のご負担をいただけることの協議をさせていただきました。

今後、具体的な改修に関する実施設計やスケジュールの調整を行い、駅舎や待合室の改修並びに宿舍の耐

震補強やリノベーションが行われます。

富士急行(株)様による駅舎の改修に合わせて、駅舎内部を借り受け、内装や備

品類等の整備を行い、新たな町民の交流拠点として令和5年度内のオープンを目指して事業を進めてまいります。

問 三つ峠駅前の再開発計画はどうか

三つ峠駅前の役場職員駐車場となつている土地の活用も含め、駅前再開発計画

について、進捗状況をお聞かせ下さい。

長弁 町答 全額補助金で基本調査を実施、民間活力により再開発予定であったが！

三つ峠駅前再開発については、令和4年度国土交通省の先導的官民連携事業として選定され、全額補助事業として基本調査を実施してまいりました。

令和4年度の三つ峠駅前再開発の基本調査結果を踏まえ、令和5年度においては、具体的な事業実施のためアドバイザリー調査を町の事業費で実施し、令和6年度プロポーザル公募後、令和7年度の着工に向けて進める予定でした。けれども、過半数の議員から事業

を中断するようご指摘いただき、予算の修正を行いましたので、私の町民に対しての公約における大きな柱ではあります。町民の代表である議員の皆様のご賛同が得られなかったことは町民の皆様からのご意見として重く受け止めております。

今後は、町議会において広く町民のご意見をいただくなかで三つ峠駅前再開発の方向性・具体案の議論を重ねていただきたいと思います。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させていただきますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その91



いきいき交流会 本町白寿会の皆さん

訪問先

いきいき交流会
本町白寿会

代表者：小林 圭一

取材日：4月11日
菅谷議員、渡辺議員

問 会員数を教えてください。

小林さん 21名(対象者12名、実施者9名)です。

問 活動日・活動時間は。

小林さん 月1回、第2火曜日、午前10時30分から12時まで活動をしています。

問 活動場所は。

小林さん 本町公民館です。

問 今後の目標は。

小林さん 長い間コロナ禍で出かけることができなかったので、久しぶりに町外へ研修に出かけたいです。

問 お知らせしたいことは。

小林さん 毎月皆さんとおしゃべりをしたり、歌を歌ったり、体操をしたりして、楽しく過ごしています。



コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。(議会事務局：☎ 25-2121)